



2024年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年1月31日
上場取引所 東

上場会社名 伊藤忠エネクス株式会社
コード番号 8133 URL <https://www.itcenex.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 吉田 朋史
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CCO(兼)CFO補佐 (氏名) 井上 慎一郎 TEL 03-4233-8008
(兼)コーポレート第1部門副部門長
(兼)財務経理部長

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業活動に係る利益		税引前四半期利益		四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益		四半期包括利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	709,374	△7.0	22,490	32.7	22,842	26.4	15,528	24.1	13,236	22.6	16,321	23.4
2023年3月期第3四半期	762,988	16.1	16,950	△5.5	18,072	△4.9	12,517	△5.5	10,799	△4.7	13,224	△0.2

	基本的1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益	希薄化後1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	117.27	-
2023年3月期第3四半期	95.67	-

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	株主資本合計	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	435,060	189,992	161,145	37.0
2023年3月期	433,024	180,328	152,961	35.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	24.00	-	26.00	50.00
2024年3月期	-	26.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	26.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業活動に係る利益		税引前利益		当社株主に帰属する当期純利益		基本的1株当たり 当社株主に帰属する 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	970,000	△4.2	20,900	△2.2	22,300	△3.2	13,500	△2.4	119.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年3月期3Q	116,881,106株	2023年3月期	116,881,106株
2024年3月期3Q	3,996,999株	2023年3月期	4,025,827株
2024年3月期3Q	112,869,674株	2023年3月期3Q	112,879,862株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	7
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	9
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 継続企業の前提に関する注記	14
(6) セグメント情報	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当期の連結業績の概況

当第3四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年12月31日）における日本経済は、国内における石油製品や電力等のエネルギー価格の高騰は落ち着きを取り戻しつつありますが、地政学リスクの高まりや為替の影響等、将来の見通しについては今後も不透明な状況が続く事が予想されます。

このような中、当社グループでは、2023年4月に中期経営計画『ENEX2030』を新たに策定いたしました。

中期経営計画の概要

ENEX2030

くらしの原動力を創る

生活や産業へ多様なエネルギー・サービスを提供し
更なる成長・変革へ挑戦する

1. 計画名称：

2. 期間：8カ年（2023年度～2030年度）

3. 中期経営計画『ENEX2030』概要：

1) 目指す方向性

①現場力の増強

- ・既存事業における顧客基盤の更なる充実と収益性の向上
- ・グループ・コミュニケーション向上、総合力を高め、現場力強化

②投資実行の加速

- ・投資推進体制の構築による投資の加速
- ・新規・戦略投資2,100億円

2) 経営目標

(財務指標)

- ①当期純利益200億円以上、②実質営業キャッシュ・フロー（※1）450億円、③ROE9.0%以上、
- ④新規戦略投資（8年累計）2,100億円

(非財務指標)

- ①GHG排出量50%以上削減（2018年度比 Scope 1・2）、②女性採用比率30%以上、③女性管理職比率10%、
- ④男性育休取得率80%以上

4. 中期経営計画『ENEX2030 '23-'24（2023-2024）』の概要

1) 位置づけ：“2030年目指す姿”実現に向け、現場力強化、収益基盤強化により成長戦略実現への体制構築

2) 主な取り組み：①現場力の強化 ②投資実行体制の進化 ③組織・人材の強化

3) 経営目標

(財務指標)

- ①当期純利益135億円（'23-'24年度）、②実質営業キャッシュ・フロー毎期350億円、
- ③ROE8～9%（'23-'24年度）、④累計投資額600億円（内CAPEX160億円）

(株主還元)

連結配当性向40%以上を強く意識した上で、累進配当を実施

（※1）実質営業キャッシュ・フローとは、営業活動によるキャッシュ・フローから運転資金等を除いたものです。

以上の新たな中期経営計画のもと、事業を推進し、当第3四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	2022年度第3四半期 連結累計期間	2023年度第3四半期 連結累計期間	増減
売上収益	762,988	709,374	△53,614
営業活動に係る利益	16,950	22,490	5,540
当社株主に帰属する四半期純利益	10,799	13,236	2,437

売上収益は7,093億7千4百万円（前年同期比7.0%の減少）となりました。これは主に、原油価格およびLPガス価格下落に伴う販売価格の下落によるものです。

営業活動に係る利益は224億9千万円（前年同期比32.7%の増加）、当社株主に帰属する四半期純利益は132億3千6百万円（前年同期比22.6%の増加）となりました。これは主に、産業ビジネス事業における前年同期好調の反動及びホームライフ事業における在庫単価変動の利幅への影響による減益があったものの、自動車ディーラー事業による貢献と、資産入れ替えの為の固定資産の売却による一過性の利益があったことによるものです。

② 当期のセグメント別の概況

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

【ホームライフ事業】

(単位：百万円)

	2022年度第3四半期 連結累計期間	2023年度第3四半期 連結累計期間	増減
売上収益	58,591	49,706	△8,885
営業活動に係る利益	561	345	△216
当社株主に帰属する四半期純利益	999	314	△685

〔LPガス事業〕直売顧客軒数は新規顧客の獲得や営業権買収の推進により、約574千軒（前期末比約10千軒増加）となりました。LPガス販売数量は、平均気温が前年同期を上回ったこと等が影響し、前年同期を下回りました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりです。

売上収益は497億6百万円（前年同期比15.2%の減少）となりました。これは主に、LPガス輸入価格の下落により販売価格が前年同期を下回ったことによるものです。

営業活動に係る利益は3億4千5百万円（前年同期比38.5%の減少）、当社株主に帰属する四半期純利益は3億1千4百万円（前年同期比68.6%の減少）となりました。これは主に、LPガス輸入価格の下落に伴う在庫単価変動の利幅へのマイナス影響によるものです。

【カーライフ事業】

(単位：百万円)

	2022年度第3四半期 連結累計期間	2023年度第3四半期 連結累計期間	増減
売上収益	425,729	460,344	34,615
営業活動に係る利益	6,716	10,345	3,629
当社株主に帰属する四半期純利益	3,564	5,566	2,002

〔CS（※2）事業〕CS数は前期末より30ヵ所減少し、1,580ヵ所となりました。石油製品の販売数量は、新型コロナウイルス感染症による影響緩和で石油製品の需要が回復傾向にあり、前年同期を上回りました。

〔自動車関連事業〕自動車ディーラー事業を行っている子会社の大阪カーライフグループ㈱において、半導体の供給回復により新車の納車が好調に推移し、全体の販売台数は前年同期を上回りました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりです。

売上収益は4,603億4千4百万円（前年同期比8.1%の増加）となりました。これは主に、石油製品の販売数量増加によるものです。

営業活動に係る利益は103億4千5百万円（前年同期比54.0%の増加）、当社株主に帰属する四半期純利益は55億6千6百万円（前年同期比56.2%の増加）となりました。これは主に、自動車ディーラー事業における新型車の販売が好調に推移したことと、CS跡地の売却に伴う一過性の利益（営業活動に係る利益に与える影響は15億3千4百万円）によるものです。

（※2）CSとは、カーライフ・ステーションの略であり、当社が提案する複合サービス給油所です。

【産業ビジネス事業】

(単位：百万円)

	2022年度第3四半期 連結累計期間	2023年度第3四半期 連結累計期間	増減
売上収益	190,855	108,169	△82,686
営業活動に係る利益	7,978	3,708	△4,270
当社株主に帰属する四半期純利益	5,506	2,633	△2,873

〔船舶燃料販売事業〕外航船向け取引の一部縮小により、販売数量は前年同期を下回りました。

〔環境関連事業〕AdBlue®（※3）の販路開拓が順調に進んだことにより、販売数量は前年同期を上回りました。

〔アスファルト販売事業〕新たな商権獲得等により、販売数量は前年同期を上回りました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりです。

売上収益は1,081億6千9百万円（前年同期比43.3%の減少）となりました。これは主に、原油価格下落に伴う販売価格の下落や販売数量の減少によるものです。

営業活動に係る利益は37億8百万円（前年同期比53.5%の減少）、当社株主に帰属する四半期純利益は26億3千3百万円（前年同期比52.2%の減少）となりました。これは主に、アスファルト販売事業及び産業ガス事業が好調に推移したものの、前年同期に好調であった流通ターミナル事業や船舶燃料販売事業等の反動によるものです。

（※3）AdBlue®とは、ディーゼル車の排気ガスを分解して無害化する際に使われる世界標準の高品位尿素水。（®AdBlueはドイツ自動車工業会（VDA）の登録商標です。）

【電力・ユーティリティ事業】

(単位：百万円)

	2022年度第3四半期 連結累計期間	2023年度第3四半期 連結累計期間	増減
売上収益	87,813	91,155	3,342
営業活動に係る利益	1,134	7,403	6,269
当社株主に帰属する四半期純利益	418	4,367	3,949

〔電力小売事業〕 低圧販売において新規契約の獲得により、低圧の販売数量は前年同期を上回りましたが、高圧販売において採算販売を行ったことにより、販売数量全体は前年同期を下回りました(※4)。当社グループ全体の電力小売顧客件数は319千件(前期末比約14千件減少)となりました。

〔熱供給事業(※5)〕 平均気温が前年同期を上回ったことに伴う空調利用の増加により、販売熱量は前年同期を上回りました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりです。

売上収益は911億5千5百万円(前年同期比3.8%の増加)となりました。

営業活動に係る利益は74億3百万円(前年同期は11億3千4百万円の利益)、当社株主に帰属する四半期純利益は43億6千7百万円(前年同期は4億1千8百万円の利益)となりました。これは主に、販売価格改定による電力小売事業の改善と大規模太陽光発電所(メガソーラー)の売却による一過性の利益(営業活動に係る利益に与える影響は50億1千9百万円)によるものです。

(※4) 電力小売事業の販売数量は高圧・低圧ともに取次数量を含みます。

(※5) 熱供給事業とは、熱源プラントから複数の建物、オフィスビル等に、冷房・暖房等に使用する冷水・温水を導管で供給する事業です。

(2) 財政状態に関する説明

【資産、負債及び資本の状況】

(単位：百万円)

	2023年3月末	2023年12月末	増減
資産合計	433,024	435,060	2,036
負債合計	252,696	245,068	△7,628
資本合計	180,328	189,992	9,664

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して20億3千6百万円増加し、4,350億6千万円となりました。これは主に、季節要因による販売数量の増加により営業債権が44億5千2百万円増加したことによるものです。また負債合計は、前連結会計年度末と比較して76億2千8百万円減少し、2,450億6千8百万円となりました。これは主に、社債及び借入金が112億7千8百万円減少したことによるものです。資本合計は、当社株主に帰属する四半期純利益による132億3千6百万円増加及び配当金支払いによる66億8千9百万円減少等により前連結会計年度末と比較して96億6千4百万円増加の1,899億9千2百万円となりました。

【キャッシュ・フローの状況】

当社グループでは、コア事業から生みだされたキャッシュ・フローをもとに周辺事業の拡大や新たな事業領域への積極的な投資を推進できる体制を維持しております。

当面の資金調達余力につきましては、潤沢な現金及び現金同等物に加え、十分な当座貸越枠並びに社債(CP)発行枠を確保しております。また、これまでも健全な水準を維持してきたネットDERは△0.11倍となっております。

(単位：百万円)

	2022年度第3四半期 連結累計期間	2023年度第3四半期 連結累計期間	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	22,747	20,359	△2,388
投資活動による キャッシュ・フロー	△9,559	△4,555	5,004
(フリー・キャッシュ・ フロー)	(13,188)	(15,804)	(2,616)
財務活動による キャッシュ・フロー	△30,863	△26,852	4,011
現金及び現金同等物の増減 額	△17,675	△11,048	6,627
為替相場の変動による現金 及び現金同等物への影響額	△16	25	41
現金及び現金同等物の四半 期末残高	20,454	20,990	536

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して110億2千3百万円減少の209億9千万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

(単位：百万円)

	2022年度第3四半期 連結累計期間	2023年度第3四半期 連結累計期間	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	22,747	20,359	△2,388
運転資金等の増減	△5,323	△1,188	4,135
実質営業キャッシュ・ フロー(※6)	28,070	21,547	△6,523

(※6) 営業活動によるキャッシュ・フローから運転資金等（営業債権の増減、棚卸資産の増減、営業債務の増減、その他純額）を除いたものです。

営業活動の結果得られた資金は203億5千9百万円となりました。主な要因は、税引前四半期利益228億4千2百万円、減価償却費及び償却費157億4千5百万円、固定資産に係る損益△61億5千5百万円、法人所得税の支払額112億9千9百万円によるものです。なお、営業活動によるキャッシュ・フローは前年同期比で23億8千8百万円減少しております。また、実質営業キャッシュ・フローにつきましては前年同期比で65億2千3百万円減少しております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当社グループでは、これまでも投資戦略に基づき常に資本効率を意識した投資を進めております。

投資活動に使用した資金は45億5千5百万円となりました。主な要因は、大規模太陽光発電所（メガソーラー）を中心とした有形固定資産及び投資不動産の売却による収入269億3千4百万円、余剰資金の親会社への預け金の増加による支出200億円、有形固定資産及び投資不動産の取得による支出76億7千1百万円、無形資産の取得による支出40億7百万円によるものです。なお、投資活動によるキャッシュ・フローは前年同期比で50億4百万円増加しております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当社グループでは、企業価値向上に向けグループ全体での財務活動の効率化を目指し、グループ金融制度(※7)により財務マネジメントを強化しております。

財務活動により支出した資金は268億5千2百万円となりました。主な要因は、社債及び借入金の返済額112億2千万円、リース負債の返済による支出84億2千5百万円、当社株主への配当金の支払額58億7千6百万円によるものです。なお、財務活動によるキャッシュ・フローは前年同期比で40億1千1百万円増加しております。

(※7) グループ金融制度とは、グループ間で資金を融通しあうことで資金管理・調達コストを効率化する制度です。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

区分	前連結会計年度末 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (2023年12月31日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び現金同等物	32,013	20,990
営業債権	115,920	120,372
その他の短期金融資産	14,251	36,161
棚卸資産	26,176	31,520
未収法人所得税	100	323
前渡金	907	531
その他の流動資産	1,774	2,041
流動資産合計	191,141	211,938
非流動資産		
持分法で会計処理されている投資	31,762	33,079
その他の投資	3,442	4,753
投資以外の長期金融資産	11,508	8,697
有形固定資産	149,920	128,573
投資不動産	12,732	12,912
のれん	521	521
無形資産	20,237	21,704
繰延税金資産	9,354	11,350
その他の非流動資産	2,407	1,533
非流動資産合計	241,883	223,122
資産合計	433,024	435,060

(単位：百万円)

区分	前連結会計年度末 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (2023年12月31日)
(負債及び資本の部)		
流動負債		
社債及び借入金（短期）	7,026	1,849
営業債務	114,818	128,796
リース負債	10,415	8,957
その他の短期金融負債	5,134	4,588
未払法人所得税	4,748	2,981
前受金	11,031	9,902
その他の流動負債	12,951	9,002
流動負債合計	166,123	166,075
非流動負債		
社債及び借入金（長期）	7,101	1,000
リース負債	47,263	46,049
その他の長期金融負債	15,454	15,422
退職給付に係る負債	10,344	10,568
繰延税金負債	759	993
引当金	5,515	4,800
その他の非流動負債	137	161
非流動負債合計	86,573	78,993
負債合計	252,696	245,068
資本		
資本金	19,878	19,878
資本剰余金	19,014	19,016
利益剰余金	115,899	123,191
その他の資本の構成要素	66	926
自己株式	△1,896	△1,866
株主資本合計	152,961	161,145
非支配持分	27,367	28,847
資本合計	180,328	189,992
負債及び資本合計	433,024	435,060

(2) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上収益	762,988	709,374
売上原価	△695,903	△642,702
売上総利益	67,085	66,672
その他の収益及び費用		
販売費及び一般管理費	△50,209	△51,091
固定資産に係る損益	△258	6,155
その他の損益	332	754
その他の収益及び費用合計	△50,135	△44,182
営業活動に係る利益	16,950	22,490
金融収益及び金融費用		
受取利息	32	66
受取配当金	57	114
支払利息	△601	△513
その他の金融損益	16	△380
金融収益及び金融費用合計	△496	△713
持分法による投資損益	1,618	1,065
税引前四半期利益	18,072	22,842
法人所得税費用	△5,555	△7,314
四半期純利益	12,517	15,528
四半期純利益の帰属		
当社株主に帰属する四半期純利益	10,799	13,236
非支配持分に帰属する四半期純利益	1,718	2,292
計	12,517	15,528

(単位：百万円)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
その他の包括利益 (税効果控除後)		
純損益に振替えられることのない項目		
FVTOCI金融資産	△38	394
持分法適用会社におけるその他の包括利益	35	144
純損益に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	2	10
キャッシュ・フロー・ヘッジ	—	201
持分法適用会社におけるその他の包括利益	708	44
その他の包括利益 (税効果控除後) 計	707	793
四半期包括利益	13,224	16,321
四半期包括利益の帰属		
当社株主に帰属する四半期包括利益	11,507	14,028
非支配持分に帰属する四半期包括利益	1,717	2,293
計	13,224	16,321

(単位：円)

1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益		
基本的	95.67	117.27
希薄化後	—	—

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					株主資本 合計	非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素	自己株式			
2022年4月1日残高	19,878	18,990	107,617	△315	△1,871	144,297	26,901	171,198
四半期純利益			10,799			10,799	1,718	12,517
その他の包括利益				708		708	△1	707
四半期包括利益			10,799	708		11,507	1,717	13,224
所有者との取引額								
配当金			△5,536			△5,536	△1,660	△7,196
その他の資本の構成要素から利益剰余金 への振替			11	△11		-		-
自己株式の取得及び処分					△41	△41		△41
株式に基づく報酬取引		△1			17	16		16
2022年12月31日残高	19,878	18,989	112,890	382	△1,895	150,244	26,958	177,202

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					株主資本 合計	非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素	自己株式			
2023年4月1日残高	19,878	19,014	115,899	66	△1,896	152,961	27,367	180,328
四半期純利益			13,236			13,236	2,292	15,528
その他の包括利益				792		792	1	793
四半期包括利益			13,236	792		14,028	2,293	16,321
所有者との取引額								
配当金			△5,876			△5,876	△813	△6,689
その他の資本の構成要素から利益剰余金 への振替			△68	68		-		-
自己株式の取得及び処分					△0	△0		△0
株式に基づく報酬取引		2			30	32		32
2023年12月31日残高	19,878	19,016	123,191	926	△1,866	161,145	28,847	189,992

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	18,072	22,842
減価償却費及び償却費	16,718	15,745
固定資産に係る損益	258	△6,155
金融収益及び金融費用	496	713
持分法による投資損益	△1,618	△1,065
営業債権の増減	△5,308	△4,431
棚卸資産の増減	△6,888	△5,340
営業債務の増減	11,158	13,955
その他－純額	△4,285	△5,372
配当金の受取額	659	1,123
利息の受取額	32	65
利息の支払額	△582	△422
法人所得税の支払額	△6,083	△11,299
法人所得税の還付額	118	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,747	20,359
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資（持分法で会計処理される投資を含む）の取得による支出	△1,492	△2,944
投資（持分法で会計処理される投資を含む）の売却及び償還による収入	478	649
貸付による支出	△618	△546
貸付金の回収による収入	626	317
有形固定資産及び投資不動産の取得による支出	△9,528	△7,671
有形固定資産及び投資不動産の売却による収入	309	26,934
無形資産の取得による支出	△1,837	△4,007
無形資産の売却による収入	7	282
預け金の増減－純額	—	△20,000
その他－純額	2,496	2,431
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,559	△4,555

(単位：百万円)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債及び借入金による調達額	50	500
社債及び借入金の返済額	△14,936	△11,220
リース負債の返済による支出	△8,760	△8,425
短期借入金の増減－純額	20	△635
当社株主への配当金の支払額	△5,536	△5,876
非支配持分への配当金の支払額	△1,660	△813
自己株式の取得による支出	△41	△0
その他－純額	－	△383
財務活動によるキャッシュ・フロー	△30,863	△26,852
現金及び現金同等物の増減額	△17,675	△11,048
現金及び現金同等物の期首残高	38,145	32,013
為替相場の変動による現金及び現金同等物への影響額	△16	25
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,454	20,990

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報

前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				計	調整額	連結
	ホームライフ 事業	カーライフ 事業	産業ビジネス 事業	電力・ユー ティリティ 事業			
売上収益							
外部顧客からの収益	58,591	425,729	190,855	87,813	762,988	—	762,988
セグメント間収益	300	8,260	9,607	3,601	21,768	△21,768	—
売上収益合計	58,891	433,989	200,462	91,414	784,756	△21,768	762,988
売上総利益	12,603	36,023	13,167	5,292	67,085	—	67,085
営業活動に係る利益	561	6,716	7,978	1,134	16,389	561	16,950
税引前四半期利益	1,683	6,518	7,950	1,375	17,526	546	18,072
当社株主に帰属する 四半期純利益	999	3,564	5,506	418	10,487	312	10,799
その他の項目							
資産合計	69,791	168,485	69,088	121,017	428,381	13,700	442,081

(注) セグメント間の取引は、市場価格を参考にして決定しております。

当社株主に帰属する四半期純利益の調整額312百万円は、報告セグメントに配分していない全社損益であります。

資産合計の調整額13,700百万円は、報告セグメントに配分していない全社資産であります。

当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				計	調整額	連結
	ホームライフ 事業	カーライフ 事業	産業ビジネス 事業	電力・ユー ティリティ 事業			
売上収益							
外部顧客からの収益	49,706	460,344	108,169	91,155	709,374	—	709,374
セグメント間収益	490	8,101	3,653	257	12,501	△12,501	—
売上収益合計	50,196	468,445	111,822	91,412	721,875	△12,501	709,374
売上総利益	12,017	39,315	8,581	6,759	66,672	—	66,672
営業活動に係る利益	345	10,345	3,708	7,403	21,801	689	22,490
税引前四半期利益	802	10,221	3,810	7,373	22,206	636	22,842
当社株主に帰属する 四半期純利益	314	5,566	2,633	4,367	12,880	356	13,236
その他の項目							
資産合計	70,560	176,186	63,477	85,871	396,094	38,966	435,060

(注) セグメント間の取引は、市場価格を参考にして決定しております。

当社株主に帰属する四半期純利益の調整額356百万円は、報告セグメントに配分していない全社損益であります。

資産合計の調整額38,966百万円は、報告セグメントに配分していない全社資産であります。

前連結会計年度末（2023年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				計	調整額	連結
	ホームライフ 事業	カーライフ 事業	産業ビジネス 事業	電力・ユー ティリティ 事業			
資産合計	69,824	163,242	57,633	114,113	404,812	28,212	433,024

(注) 資産合計の調整額28,212百万円は、報告セグメントに配分していない全社資産であります。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

第1四半期連結会計期間において、商流変更等に伴い、報告セグメントの区分方法を見直したことによって、「産業ビジネス事業部門」に含まれていた一部の石油関連取引の区分を「カーライフ事業部門」に変更した他、「カーライフ事業部門」に含まれていたLNG関連取引の区分を「産業ビジネス事業部門」に変更しております。

なお、このセグメント変更に伴い、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度末のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分により組替えて表示しております。